

## 奈良町モノ語り調査

# 会所に伝わる伝統と町の暮らし

展示 2月12日(月・振替休日)～15日(木)

報告会 2月12日(月・振替休日)午後2時～4時30分

☆第1部 報告「手貝町、井上町会所の調査をめぐって」

☆第2部 講演1「江戸時代の奈良町の町民自治」

大宮守友氏(氷室神社文化興隆財団代表理事 近世史)

講演2「古文書を核とした文化財レスキューの市民運動」

西山要一氏(奈良大名誉教授 保存科学)

会場

いずれも奈良町物語館(奈良市中新屋町2-1)

公益社団法人奈良まちづくりセンターは、今年度に文化庁の「文化遺産を活かした地域活性化事業」の補助金を受け、奈良町の会所(町会所)に伝わる民俗文化遺産=モノを調べる「奈良町モノ語り調査」を行ってきました。

対象とした奈良町の会所は中世にさかのぼる起源を持ち、近世以降は町民自治の拠点であるだけでなく、人々の信仰の場として伝統を伝えてきました。調査は井上町ならびに手貝町自治会のご協力を得て両町の会所で行い、祭祀や講、集会などのための道具や会所を飾るためのさまざまなモノ、町の歴史を伝える貴重な文書などを見出し、現代における会所の営みを浮き彫りにすることができました。

調査の概要を写真パネルで展示するとともに、講演では「モノ語り調査」で古文書を担当した大宮氏に近世奈良町における会所の歴史や機能について、「文化財修復市民の会」の活動を続ける西山氏に文化財保存における市民運動の展開について語っていただきます。

昨年度は同じく文化庁の補助金を受けて町家を対象に「モノ語り調査」を行い、ならまち・京終地区の町家3軒の協力を得て多彩な暮らしの営みや戦争の記憶を物語るさまざまな品々を発掘しました。

これらの調査の成果は報告会やデータベース、報告書等を通じて発信し、奈良町の伝統的な生活文化の魅力を広く伝えることにしています。

公益社団法人奈良まちづくりセンター(理事長 二十軒起夫)

〒630-8333 奈良市中新屋町2-1 奈良町物語館内 ☎0742-26-3476



①井上町会所(横は井上神社)②鑄銅の大黒像③朱塗り高坏=以上は井上町④手貝町会所⑤墨梅図掛軸⑥螺鈿卓=以上は手貝町

